平成２６年度　　事務事業評価シート

章	2	自然とともに暮らすまち
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり
施策	I	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出
目標		自然環境学習を充実し、自然や緑の保全に努めるために、自然環境学習の指導ができる人を増やして、自然環境学習の輪を広げていく。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	目標値 H27
指標①	自然環境学習指導者の人数	人	50	160	168	186	178	190	－	75
指標②	都市計画区域内の市民一人当りの緑地面積	㎡	1,421	1,489	1,498	1,510	1,524	1,536	－	1,549

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　自然環境活動の拠点づくりと人づくり	①　体験的自然環境学習の場の充実	・山、川、海、温泉等自然を活用した体験型自然環境学習の場の充実に努めます。
1-②	1　自然環境活動の拠点づくりと人づくり	②　各団体等との連携による自然環境学習や健康づくり指導者の養成	・自然環境保全や健康づくり活動をしている団体等と連携し、自然学習をしながら健康づくりができるよう、指導者の養成や新たなサークル等の活動の推進を図ります。
2-①	2　自然環境の保全と回復	①　適切な自然環境保全活動の推進	・自然保全地域などの法令に基づく地域指定など野生生物の生育、生息域の保全に努めます。
2-②	2　自然環境の保全と回復	②　貴重な自然を保全するための環境整備	・特別緑地保全地区の適正な保全及び利活用に向けて必要な施設整備を推進するとともに、管理体制の構築に努めます。
2-③	2　自然環境の保全と回復	③　野生生物のデータ集約及び情報の発信	・市内の野生生物の生育、生息実態の把握に努め、データの収集や市民への情報発信を図り、その利活用を促進します。
2-④	2　自然環境の保全と回復	④　自然を生かした公園、緑地の整備	・公園、緑地等の保全及び整備にあたっては既存の樹木や自然景観等に配慮した整備に努めます。
2-⑤	2　自然環境の保全と回復	⑤　海岸沿いのみどりの保全、回復	・海岸沿いのみどりの保全を図るとともに、海浜地を利用して市民と協働により樹木の植栽等を進めます。 ・不法投棄の防止対策や海岸漂流物の調査除去など、関係機関との相互協力体制づくりや地域住民の協力を得て取り組みます。
2-⑥	2　自然環境の保全と回復	⑥　森林の保全	・森林は、水資源の涵養や大気の浄化、野生生物の生育･生息の場など大切な機能を有することから、その保全に努めます。
3-①	3　水辺環境の保全・創造	①　河畔林の保全	・河川沿いの樹木の保全を図るとともに、河川管理に影響のない河川敷地を利用してみどりの拡大に努めます。
3-②	3　水辺環境の保全・創造	②　自然環境と調和した親水空間の復元	・既存の樹木等の自然を残しながら河川親水空間づくりを推進します。 ・多様な生物の育成、生息空間である水辺の保全に努めます。 ・水辺を活用した自然とのふれあいづくりの推進に努めます。
4-①	4　自然とのふれあいの場の整備	①　地域の自然資源を活用した自然とのふれあいの場の整備	・ネイチャーセンターや公園、緑地で開催されるイベント等に、気軽に参加できるよう、自然とのふれあいの場の整備に努めます。
5-①	5　葬斎場・墓地の整備	①　葬斎場の効率的な運営	･故人と遺族に配慮した尊厳を重んじる葬斎場として施設等の維持管理に努めます。 ･施設の運営形態については、公益性及び公共性を保持しつつ、今後、指定管理者制度等の導入も視野に入れて検討します。
5-②	5　葬斎場・墓地の整備	②　墓地の整備	･衛生的で安心して利用できる墓地の整備を図ります。 ･墓地の需要を把握し、需要状況に合わせた墓地の整備を進めます。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do：事業概要：事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標：指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】：名称		H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案	Check：第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更･改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	Action：今後の事業の方向性【H27以降】
1	1-①	ネイチャーセンター運営管理経費 22111001	教育委員会	社会教育G	H14	－	ソフト	一般会計	自然体験活動の拠点となる施設を維持管理し、市民の自然に関する意識の向上を図ることを目的とする。	H24	ネイチャーセンター利用者	施設の維持管理に係る経費を負担し、鉱山地区の自然を活用した自然体験活動を推進した。	登別市ネイチャーセンター条例、登別市ネイチャーセンター条例施行規則	ネイチャーセンター利用者数	人	23,206	25,106	26,000	26,000	26,000	26,000	国庫支出金								H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	事業の実施により、市民の自然に関する意識の高揚に資するため、今後も事業を継続することが相当である。	今後も引き続き、鉱山地区の自然を活用した自然体験活動を推進していく。 また、指定管理者と連絡を密にとりながら宿泊棟の整備や施設の改修について検討を行っていく。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H25	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり									一般財源		2,624	1,354	1,994	1,994	1,994	1,994	H26	上記のとおり			
																						合　計		2,624	1,354	1,994	1,994	1,994	1,994					
2	1-①	通学合宿みんなで学ぶ『子ども村』 22111003	教育委員会	社会教育G	H21	－	ソフト	一般会計	共同生活の機会を提供することにより、基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けるとともに、協調性や責任感を育むことを目的とする。	H24	市内小学５年生、６年生	支援ボランティアの協力を得ながら生活をともにし、自然体験や学習活動をしながら、学校へ通う「通学合宿」を実施した。 場所:ネイチャーセンター 実施状況:３回　計111名 ※４回目は大停電により中止	のぼりべつ通学合宿実施要領	参加者実数	人	97	182	160	160	160	160	国庫支出金								H24以前	平成24度は大規模停電により４回目が中止となり、北海道の補助金割れが生じたため、地域づくり総合交付金を活用することができなかった。	維持	本事業は安全管理上の経費やバス借上料などから低予算とは言い難いが、リピーターが多く、保護者へのアンケート結果からは、家庭と違う生活の中で自主性・協調性や適応能力を伸ばす機会になっているとの回答が多くみられることから、子どもたちの健全育成を図っていくうえでも、今後も事業を継続していく必要がある。	今後も、市が主体的に行う事業として、引き続き地域ボランティアの協力を得ながら事業を実施していく。
																						道支出金	地域づくり総合交付金		500										
										H25	上記のとおり	上記のとおり 場所:ネイチャーセンター 実施状況:４回　計182名	上記のとおり									地方債								H25	平成23～25年度までは北海道の補助金を受けていたが、平成26年度より一般財源のみの事業となった。			
																						その他	参加者負担金	636	1,091	960	960	960	960					
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中 場所:ネイチャーセンター 実施予定:４回開催 第１回目　５月13日～５月17日実施 第２回目以降は９月を予定	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	－	一般財源		869	501	1,060	1,060	1,060	1,060	H26	上記のとおり			
																						合　計		1,505	2,092	2,020	2,020	2,020	2,020					

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称		H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など （妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性 【H27以降】
3	2-①	傷病鳥獣等保護経費	観光経済部	農林水産G	H22	ー	ソフト	一般会計	病気やケガをしている野生鳥獣等を保護し、自然に帰すことにより、豊かな自然環境の形成を図ることを目的とする。	H24	一般社団法人北海道猟友会室蘭支部	鳥獣等の知識をもつ専門の団体に事業を委託し、市民からの通報等により発見した傷病鳥獣等を保護し、自然に帰した。		保護頭（羽）数	頭（羽）	15	2	15	15	15	15	国庫支出金								H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	傷病鳥獣等の取扱いについては、専門的な知見が必要であることから、今後も事業を継続することが相当と考える。	今後も、傷病鳥獣等を現場の状況に応じて適正に保護するとともに、豊かな自然環境の形成を図っていく。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	上記のとおり										地方債								H25	上記のとおり			
														出動回数	回	28	5	20	20	20	20	その他												
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中										一般財源		200	37	212	212	212	212	H26	上記のとおり			
		22121002																				合 計		200	37	212	212	212	212					
4	2-②	キウシト湿原緑地保全事業	都市整備部	都市計画・公園G	H10	H26	ハード	一般会計	多様な動植物が生息するキウシト湿原の管理等に必要な施設整備や用地取得を行うことにより、湿原の保全や自然体験・学習等の場として利活用を図ることを目的とする。	H24	キウシト湿原	キウシト湿原の保全と利活用を図るために必要な施設整備と用地取得を行った。 【事業実績】 ・施設整備（主な整備内容） 駐車場、門扉、柵（79m）、照明灯（１基） ・用地取得　496㎡（１筆）		事業進捗率	%	92	94	100				国庫支出金	キウシト湿原緑地保全事業費補助金	13,767	2,819	15,500				H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	終了	キウシト湿原は、多様な生物の生息地として環境省の「日本の重要湿地500」に選定されるなど、重要な自然環境を有する湿原であるので、本事業によりこの湿原を保全するとともに、自然体験学習の場などとして利活用を図るための施設整備を行うことは、非常に重要であり、平成27年度に予定していりる供用開始に向け継続して整備を行う必要がある。	平成26年度で事業終了予定
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	キウシト湿原の保全と利活用を図るために必要な用地取得と管理棟の実施設計を行った。 【事業実績】 ・用地取得　661㎡ ・管理棟実施設計　一式										地方債		16,100	3,800	14,500				H25	上記のとおり			
														ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	その他												
										H26	上記のとおり	キウシト湿原の保全と利活用を図るために必要な施設整備を行う。 【事業内容】 ・施設整備 管理棟建設　一式 管理棟周辺整備等　一式										一般財源		55	641	2,700				H26	上記のとおり			
		22122001																				合 計		29,922	7,260	32,700	0	0	0					
5	2-④	緑化推進経費	都市整備部	都市計画・公園G	H4	ー	ソフト	一般会計	市民参加による各種緑化事業を実施することにより、まちのみどりを増やすとともに、市民のみどりに対する意識を高め、みどり豊かなまちづくりの推進を図ることを目的とする。	H24	市民	公共施設等の緑化や市民のみどりに対する意識を高めるため、次の事業を実施した。 【事業内容】 公共施設に植栽する植木や花苗を町内会に配布する市民緑化推進事業、道道弁景幌別線等へ花苗を植栽する沿道美化事業、小学校の新入生が植樹を行う新入学児童記念植樹のほか、試験育苗事業、みどりの講習会、グリーンデータバンク等を実施した。	みどりの基本計画	市民緑化推進事業参加町内会数	町内会	59	60	94	94	94	94	国庫支出金								H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	本事業により、みどり豊かなまちづくりを推進することは、潤いと安らぎのある生活環境を創出する上で非常に重要であることから、今後も本事業を継続して実施する必要がある。	豊かなみどりづくりを推進するため、今後も継続して市民や関係団体と協働で取り組んでいく。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H25	上記のとおり			
														ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	その他	登別市ふるさとまちづくり応援基金	224	301	342								
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり									一般財源		3,742	3,548	3,647	3,989	3,989	3,989	H26	上記のとおり			
		22124001																				合 計		3,966	3,849	3,989	3,989	3,989	3,989					
6	2-④	交流の森づくり事業	都市整備部	都市計画・公園G	H23	H29	ハード	一般会計	友好都市の市民等による植樹を推進し、親睦を深めるとともに、来訪者や市民が集うことのできる場所としての活用を図り、みどり豊かなまちづくりの推進を図ることを目的とする。	H24	札内町の市有地	札内町の市有地（日本工学院北海道専門学校前付近）において友好交流都市の市民等による植樹のための整備を行った。 【事業実績】 ・進入路整備（25m） ・防護ネット設置（150m） ・雑木等伐採 ・友好都市等による植樹（11本）		植樹本数	本	11	22	30	30	30	30	国庫支出金								H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	本事業により友好都市等による植樹を推進することは、友好都市の市民等との親睦を深めるとともに、みどり豊かなまちづくりの推進に繋がることから、今後も本事業を継続して実施する必要がある。	友好都市等による植樹を進め、その進捗に応じ施設の整備について検討していく。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【事業実績】 ・友好都市等による植樹（22本）										地方債								H25	上記のとおり			
														ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	その他												
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定										一般財源		4,263						H26	上記のとおり			
		22124002																				合 計		4,263	0	0	0	0	0					
7	2-⑥	登別市民有林造林推進事業	観光経済部	農林水産G	H11	ー	ソフト	一般会計	民有林の植栽、下刈等の活動を支援することにより、民有林の造林事業の推進を図ることを目的とする。	H24	苫小牧広域森林組合	国、道から補助を受けた民有林造林事業について、森林所有者の負担を軽減するため、事業費の一部を補助した。 【事業内容】 ・植栽 ・下刈 ・除間伐	登別市民有林造林推進事業補助規則	植栽面積	ha	11	5	15	15	15	15	国庫支出金								H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	森林は、地球温暖化防止をはじめ、国土保全、水源涵養等の公益的機能の維持等の重要な役割を担っていることから、本民有林造林事業の支援は、今後も継続することが相当である。	補助率を変更したことによる造林事業の進捗に係る影響度を検証し、更なる補助率の変更を検討していく。
																						道支出金	未来につなぐ森づくり推進事業補助金	547	509	197	197	197	197					
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H25	平成24年度までは、国、道から補助を受けた事業費の残額に対して70%以内の補助を行っていたが、西胆振近隣市町と比較した結果、補助率が高かったことから、50%以内の補助率に変更を行った。			
																						その他												
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	下刈・除間伐面積	ha	93	99	125	125	125	125	一般財源		2,346	1,615	2,215	1,592	1,592	1,592	H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
		22126002																				合 計		2,893	2,124	2,412	1,789	1,789	1,789					

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称	H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H26)における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性【H27以降】
8	2-⑥	登別市森林愛護啓発事業補助金	観光経済部	農林水産G	S40	－	ソフト	一般会計	山火事及び遭難防止、入山者のマナー啓発等の活動を行う団体を支援することにより、森林の保護及び森林に関連した事故の防止を図ることを目的とする。	H24	登別市森林愛護組合連合会	森林愛護組合連合会が行う、山火事及び遭難防止の巡視活動、上記に係る啓発チラシの配布、看板設置等の事業に対し、その経費の一部を補助した。 【森林愛護組合連合会の事業内容】 ・チラシ作成及び配布にかかる経費の負担 ・山火事注意啓発旗の設置	登別市森林愛護組合連合会規約、登別市農林業等振興補助金交付要綱	チラシ配布数	枚	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	国庫支出金							H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	林野火災の防止や山菜採り等の遭難防止に関する活動は、市の森林、また、市民の生命や財産を護るために必要であることから、事業を継続することが相当と考えられる。	今後も山火事及び遭難防止の巡視活動、啓発チラシの配布、看板設置等の各種事業の推進を図っていく。
																						道支出金												
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債							H25	巡視活動等で山へ入る者の、事故によるケガが懸念されることから、ボランティア活動保険への加入を促し、保険料相当分（7千円）の補助を追加した。				
														看板設置数	箇所	5	5	5	5	5	5	その他												
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり									一般財源		100	107	107	107	107	107	H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。				
		22126003																				合 計		100	107	107	107	107	107					
9	5-①	葬斎場運営管理事業	市民生活部	市民サービスG	H23	－	ハード	一般会計	施設・設備等を円滑に運営・稼働することにより、利用者の利便性を図ることを目的とする。	H24	葬斎場利用者	平成23年度から指定管理者制度を導入し管理運営を行っている。また、供用開始から８年以上を経過した葬斎場について、施設延命化を図るため、計画に基づいた改修を行った。 【指定管理期間】平成23年４月１日～平成28年３月31日 【事業実績】 葬斎場バグフィルター乙布の交換（１系列） 8,996千円（元金：8,925千円・利子：71千円） ※平成24年度支払い：10千円（利子分）	登別市葬斎場条例、登別市葬斎場条例施行規則	各年度の事業達成率	%	100	100	100	100	100	100	国庫支出金							H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	施設の所有者である市が行うべき事業である。	今後も引き続き葬斎場の施設・設備等を円滑に運営・稼働することにより、利用者の利便性の向上を図っていく。
																						道支出金												
										H25	上記のとおり	上記の他、バグフィルターのろ布処分及びろ布（防災資機材譲渡代金）の償還を行った。 【事業実績】 葬斎場バグフィルターろ布の処分（25千円） 防災資機材譲渡代金償還金：2,261千円 （元金：2,235千円・利子：26千円）	上記のとおり								地方債							H25	上記のとおり				
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他	葬斎場使用料	11,126	11,016	10,219	10,219	10,219	10,219					
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり									一般財源		19,087	20,771	24,265	24,265	24,265	24,265	H26	葬斎場の延命化については、計画的な改修を行うため、H26年度から「葬斎場中間改修事業」を実施することとした。				
		22151001																				合 計		30,213	31,787	34,484	34,484	34,484	34,484					
10	5-①	葬斎場誘引送風機整備事業	市民生活部	市民サービスG	H25	H26	ハード	一般会計	葬斎場の設備改修を行い、設備の機能維持を図ることを目的とする。	H24	－	－	－	各年度の事業達成率	%		100					国庫支出金	地域の元気臨時交付金		385					H24以前	－	維持（統合）	・施設の所有者である市が行うべき事業である。 ・葬斎場の延命化及び費用負担の平準化を図るため、平成26年度から「葬斎場中間改修事業」に統合し、引き続き火葬炉及び関連設備の計画的な改修を行っていく。	平成26年度から「葬斎場中間改修事業」として事業を実施していく。
																						道支出金												
										H25	葬斎場	葬斎場誘引送風機インバーターについて、延命化のため改修を行った。 【事業実績】 葬斎場誘引送風機インバーター取替（１系列） 2,415千円	登別市葬斎場条例、登別市葬斎場条例施行規則								地方債			1,800				H25	葬斎場の延命化及び費用負担の平準化を図るため、葬斎場全体の整備を計画的に実施することが必要である。				
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他												
										H26	－	－	－									一般財源			230					H26	－				
		22151005																				合 計		0	2,415	0	0	0	0					
11	5-②	墓地管理経費（墓参バス借上料除く）	市民生活部	市民サービスG	－	－	ソフト	一般会計	墓地の適切な維持管理を行うことにより、市民の利便性を維持することを目的とする。	H24	墓地使用者及び墓参者	市内10か所の墓地の維持管理及び周辺整備等を行った。	墓地、埋葬等に関する法律、墓地使用条例、墓地使用条例施行規則									国庫支出金							H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	市内10箇所の墓地の管理者である市が行うべき事業であり、今後も維持管理を行い、墓参者等の利便性の維持・向上に努める。	墓地を利用する市民の利便性を確保するため、引き続き、墓地の維持管理及び周辺整備等に努めていく。
																						道支出金												
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債							H25	墓地の管理システムが平成26年度に導入から５年が経過し、機器の保守が終了することから、更新について検討を行う。				
																						その他	墓地管理基金積立金繰入金	1,637	1,637									
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり									一般財源		3,137	3,230	6,588	5,508	5,508	5,508	H26	墓地管理システムの更新を行う。				
		22152001																				合 計		4,774	4,867	6,588	5,508	5,508	5,508					
12	5-②	墓地管理経費（墓参バス借上げ料）	市民生活部	市民サービスG	S54	－	ソフト	一般会計	富浦墓地及び第二富浦墓地、亀田霊園は、市街から離れた高台にあり、近くに駅及びバス停等がないことから、墓参者の利便性を向上させることを目的とする。	H24	墓参者	富浦墓地及び第二富浦墓地については、美園・上鷲別・鷲別地区、若草・幌別地区、幌別・登別地区の３ルートを設定し墓参バスを運行した。また、亀田霊園については、イオン登別店前バス停から市バスの運行（無料）によるピストン輸送を行った。 【平成24年８月13日（月）運行実績】 乗車人数 ・富浦墓地、第二富浦墓地：59名 ・亀田霊園：６名（延べ人数・８往復）		乗車人数	人	59	71	132	132	132	132	国庫支出金							H24以前	亀田霊園行き墓参バスの乗車人数が少なく、早い時間帯の運行を望む声があったことから、バスの運行時間を変更した。 ※「11時から15時までの間」を「８時30分から12時30分までの間」に変更。	改善	・当該墓地は市街から離れた高台にあり、バス停留所からの距離があり交通手段を持たず墓参が困難な方の不便を解消するためには必要性の高い事業である。 ・現行に代わる民間バス等での公共交通機関がないため、利用状況等を注視した中で、運行台数の縮減及び運行経路、運行回数等の見直しについて検討した結果、平成27年度から美園・上鷲別・鷲別地区ルートを市バス運行とすることとした。 ・亀田霊園への墓参バスについては、運行開始後３年ということもあるため、５年間の利用状況を踏まえ、今後の方向性について検討した結果、平成27年度から午後の運行に変更することとした。	亀田霊園行のバスについては、平成27年度から運行時間帯の見直しを行ったうえで、引き続き周知に力を入れるとともに、利用状況及び乗車実態の調査、今後の運行の可否について検討を行っていく。
																						道支出金												
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【平成25年８月13日（火）運行実績】 乗車人数 ・富浦墓地、第二富浦墓地：71名 ・亀田霊園：23名（延べ人数・８往復）									地方債							H25	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。				
														乗車率	%	44	53	60	60	60	60	その他												
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定 【平成26年８月13日（水）運行実施予定】										一般財源		120	120	130	98	98	98	H26	亀田霊園行のバス利用者が極端に少ないことを踏まえ、周知に力を入れるとともに、利用状況をみながら今後の運行の可否の検討を行う。				
		22152003																				合 計		120	120	130	98	98	98					

全会計 合計						
国庫支出金	13,767	3,204	15,500	0	0	0
道支出金	547	1,009	197	197	197	197
地方債	16,100	5,600	14,500	0	0	0
その他	13,623	14,045	11,521	11,179	11,179	11,179
一般財源	36,543	32,154	42,918	38,825	38,825	38,825
合計	80,580	56,012	84,636	50,201	50,201	50,201

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名	開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do																		Check			Action
								事業概要					事業の成果、目標								各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】						第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H26)における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H27以降】
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標	名称	H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案				
													一般会計 合計								国庫支出金	13,767	3,204	15,500	0	0	0				
																					道支出金	547	1,009	197	197	197	197				
																					地方債	16,100	5,600	14,500	0	0	0				
																					その他	13,623	14,045	11,521	11,179	11,179	11,179				
																					一般財源	36,543	32,154	42,918	38,825	38,825	38,825				
																					合計	80,580	56,012	84,636	50,201	50,201	50,201				
																					区分【再掲】	H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案				